

令和2年度 危機管理部 重点目標

	重点事項	成果目標
1	<p>集中豪雨や南海トラフ地震、新型コロナウイルス感染症など様々な危機管理事象への対応を強化します。</p>	<p>頻発し激甚化する風水害や南海トラフ巨大地震等・直下型地震等に備え、迅速な防災体制の構築と、府民ぐるみの避難体制確保を進めます。</p> <p>① 危機管理センターの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然災害や大規模事故などのあらゆる危機事象に迅速・的確に対応し、近年充実が図られている国等の応援体制にも対応できる常設の危機管理センター設置に向け、整備計画を策定します。 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <p>整備計画（予定）：R2 有識者意見聴取、基本設計 R3 実施設計 R4 整備工事 R5 稼働開始</p> </div> <p>② 新総合防災情報システム整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災情報システムのサーバをクラウド化させるとともに、発信する防災情報に多言語機能や備蓄物資管理機能等を追加するなど、システムの底上げを図り、災害対応力向上を進めます。 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <p>整備計画（予定）：R2 システム設計（詳細設計）及び構築等 R3 運用開始</p> </div> <p>③ 京都府戦略的地震防災対策指針及び同推進プラン改定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第二次京都府戦略的地震防災対策指針及び同推進プランを踏まえ、次期対策指針及び同推進プランを策定し、戦略的な地震対策を推進します。 (計画期間：対策指針 R2～令和11年度、推進プラン R2～R6) <p>④ 逃げ遅れゼロ・プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水害時等に円滑に住民が避難できるよう、府内全市町村の水害等避難行動タイムラインのモデル策定を支援します。また、災害時に適時的確に避難を促す災害時声掛け人材を養成するとともに、消防団員が中心となり地域で各種避難訓練に取り組む災害時避難行動円滑化事業を実施します。 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <p>目標：水害等避難行動タイムライン作成市町村 17市町村 (R1：9市町村作成) 災害時声掛け人材 100人 (R1：374人) 地域単位の避難訓練 25地域</p> </div>

令和2年度 危機管理部 重点目標

	重点事項	成果目標
1		<p>⑤ 安全な避難所、避難経路の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難所等緊急実態調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の東日本の広域災害で顕在化した避難所自体の浸水や避難者が避難経路上で被災する等の課題に対応するため、府内約1700箇所の避難所を点検し、市町村とともに各避難所の課題の抽出と改善策を検討し、府民が安心して避難できる安全な避難所・避難経路確保を進めます。 ○ 避難所における新型コロナウイルス感染症対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民が避難した場合の「3つの密」（密閉、密集、密接）を防ぐため、専用スペースや緊急的に他の避難所を確保するなど、災害発生時の避難所における新型コロナウイルス感染症対策の支援に取り組みます。 <p>⑥ 消防団による地域防災力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 府民とともに地域防災力を強化するため、将来の消防団員を育てる府内大学の消防防災サークル活動への支援や企業等の協力体制を進めるほか、消防団の地域貢献の取組や活動環境の改善を交付金で支援します。また、消防団員を中心とする「ふるさとレスキュー」の立ち上げを支援し、孤立危険地域の救助救急力を高めます。 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-left: 40px;"> <p>目標：団員充足率：100% (H31. 4. 1 89.8%) 消防防災サークル数：14大学（新規 1大学、継続 13大学） 「消防団応援の店」制度の拡充 ふるさとレスキューの立ち上げ地域：24地域（新規 2地域、継続 22地域）</p> </div>

令和2年度 危機管理部 重点目標

	重点事項	成果目標
2	<p>広域的・総合的な原子力防災対策により避難計画の実効性を高めます。</p>	<p><u>原子力災害広域避難計画の実効性を高めます。</u></p> <p>① <u>原子力発電所の安全性の検証</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 原子力という重要施設を運営する関西電力の公的企業としての信頼性について評価します。 ○ 原子力発電所、特に40年超えの高浜発電所1・2号機の安全対策について、関係市町と地域協議会や現地調査を行い、専門家の知見も得て、安全性を追求します。 <p>② <u>避難道路・放射線防護施設の整備</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ PAZ・UPZ市町の重要な避難道路を計画的に整備します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電源立地地域対策交付金：田井中田線ほか2路線（舞鶴市）、小浜綾部線ほか4路線（綾部市） ・ 原子力災害時避難円滑化モデル実証事業 <ul style="list-style-type: none"> ：舞鶴宮津線（宮津市）、舞鶴和知線、京丹波三和線（京丹波町）、綾部宮島線周辺（南丹市） ○ 原子力災害時における災害時要配慮者の屋内退避施設を整備します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別養護老人ホームいこいの村梅の木寮 <p>③ <u>原子力総合防災訓練の実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 関係市町とともに、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた住民避難の図上訓練を行い、訓練成果を会場設営訓練等において検証し、感染症対策を避難計画等に反映させます。 <p style="text-align: right;">＜目標：訓練回数 2回（図上・実動）＞</p>